



豊玉南小学校だより
令和7年 3月 5日

令和6年度 学校評価特別号

令和6年度 教育活動アンケート集計結果報告

今年度もアンケートへのご協力ありがとうございました。児童および皆様からいただいたご意見をもとに全体的な傾向を把握し、来年度に向けて教育活動に生かしてまいります。また、自由記述欄にも様々なご意見をいただきました。児童がよりよく学び、安心して生活できる学校づくりのために、次年度以降の教育活動の参考にさせていただきます。

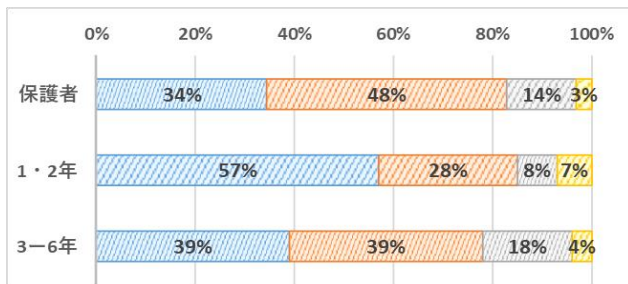
以下、4段階でご回答いただいた項目についてグラフにまとめました。

グラフの見方

上段…保護者 中段…1・2年生 下段…3・4・5・6年生

左から「とてもそう思う」→「そう思う」→「どちらとも言えない」→「そう思わない」

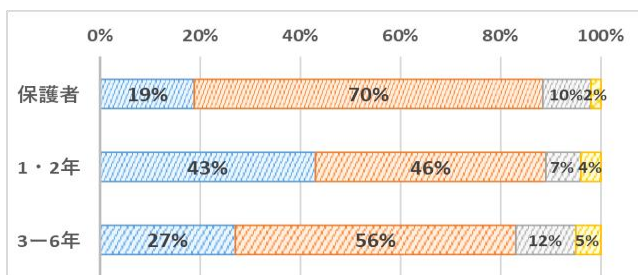
【問1】子供たちは、学校へ行くのが楽しいと言っている。



学校に楽しく通っているという回答が多く集まりましたが、児童からの否定的な回答も他の項目に比べると多く集まりました。登校の動機は、学校の楽しさです。楽しさは、「友達と仲良くかかわる」「学びの楽しさを味わう」ときに実感することが多いと考えています。教職員が子どもたちの様子をしっかりと見守り、寄り添って話を聞いています。学校では、友達とのかかわり方を学び、確実に学力を定着していけるように

指導を工夫していきます。各ご家庭の協力を得ながら、児童相互のかかわりを大切にして魅力的な授業実践を重ねていきます。また、いじめや不登校の未然防止に努め、誰もが楽しく通える学校づくりを進めてまいります。

【問2】学校は子供たちに基礎・基本をしっかりと教え、思考力・判断力・表現力が身に付く指導を行っている。

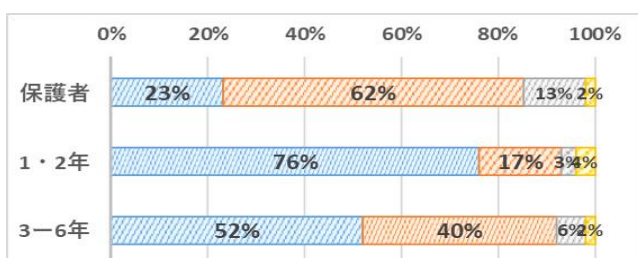


児童・保護者ともに高い評価をいただきました。昨年度より取り組んでいる校内研究の主題である

「子供も教師もわくわくする授業づくり」のもと、子供が自ら学習課題を考え、その課題を解決するためにどのような方法が適しているかを考え解決していく指導を目指してきました。その成果が見られたのだと思います。各教科の学習では、ICT機器を効果的に活用しながら進めております。さらに子供

たちのわくわくする姿が見られるように、校内で研修をしたりして教職員の授業技術を高めていきます。

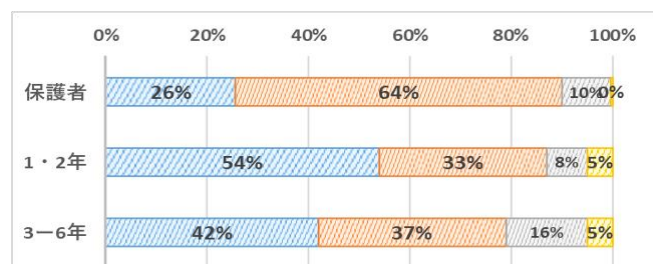
【問3】学校は、子供たちがお互いを理解し合い、学び合える関係づくりに努力している。



児童の肯定的評価が90%を超える評価をいただきました。3年生以上にQUアンケートを実施し、個々の意欲や満足感、および学級集団の状態を質問紙によって測定し、よりよい学級集団づくりに活用しました。各学年の発達段階に応じた話し合い活動を計画的に行い、自分の言葉で伝えることや互いの考えを尊重することのよさを学んでいます。縦割り

班活動では、6年生を中心に異学年の児童同士が互いに思いやりの気持ちをもって活動することができました。

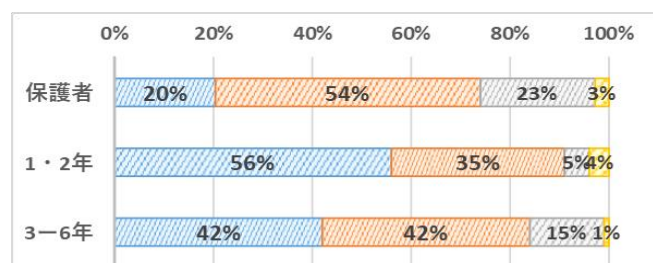
【問4】学校は、健康的な生活習慣を育み体力を高めるための指導を行っている。



夏の猛暑により外遊びを制限する時期もありましたが、安全を確認して休み時間の外遊びへの言葉掛けや、意図的に外に出る活動を増やしていきました。養護教諭が行う保健指導や保健体育での健康学習（3年生以上）、各学級での日常的な健康教育などにより、正しい知識を身に付け、自己の体調を意識して生活できるように指導しています。5月と11月には大縄旬間、12月にはマラソン旬間を全校で取り組み基礎体力の向上を図っています。5月に実施した体力調査では、今年度も「ソフトボール投げ（投の運動）」に課題が見られました。子供たちが日常的に運動に親しめるように取組を工夫し、引き続き健康の保持増進と体力向上に努めてまいります。

5月と11月には大縄旬間、12月にはマラソン旬間を全校で取り組み基礎体力の向上を図っています。5月に実施した体力調査では、今年度も「ソフトボール投げ（投の運動）」に課題が見られました。子供たちが日常的に運動に親しめるように取組を工夫し、引き続き健康の保持増進と体力向上に努めてまいります。

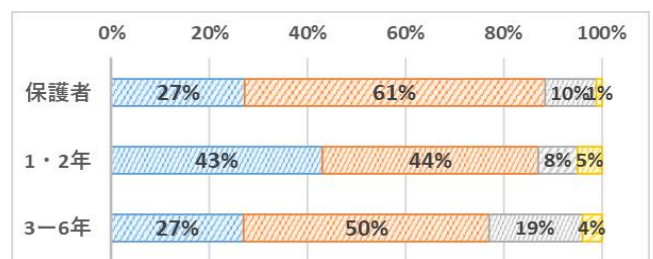
【問5】学校は子供たちの声に耳を傾け、一人一人に応じた適切な指導を行っている。



保護者回答で「どちらとも言えない」が23%と他の項目に比べると多くなりました。全校児童一人一人の声に耳を傾けられるよう、担任をはじめ専科の教員、養護教諭、特別支援教室の巡回指導教員と職員全員で子供たちを見守る指導体制を整えていきます。5年生はスクールカウンセラー、3年生は心のふれあい相談員による全員面接を行い、子供たちが不安や悩みを打ち明けられる機会も設定しました。今後も児童一人一人の声に傾聴・共感する姿勢を大切に、個に応じた適切な指導を工夫してまいります。

子供たちが不安や悩みを打ち明けられる機会も設定しました。今後も児童一人一人の声に傾聴・共感する姿勢を大切に、個に応じた適切な指導を工夫してまいります。

【問6】学校は基本的な生活習慣やあいさつなど、規律ある生活態度の指導を行っている。

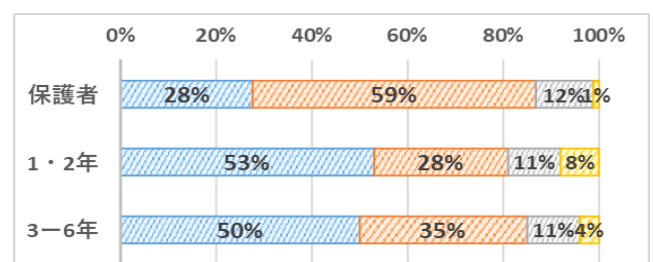


保護者・児童ともに高い肯定評価が示されています。これは家庭でもしっかりと意識してくださって指導していただいているものと考えます。

今年度も昨年度同様に「あいさつ運動」の際にはシールを活用しておりましたが、後半はシールの活用無しで取り組み、元気な挨拶ができるようになりました。お互いの挨拶が大きなプレゼントとなりました。

毎週の生活目標を意識させ、道徳や保健の学習を中心に自己の生活を振り返る活動も行っています。挨拶や生活習慣につきまちは、ご家庭の協力も改善の大きな要因であると考えています。今後もより一層、地域やご家庭と協力して取り組んでまいります。

【問7】学校は保護者や地域と連携して子供の教育に当たっている。



児童は保護者・地域の皆様のご支援によりたくさんの貴重な体験をさせていただきました。皆様には様々な場面でご協力をいただき、ありがとうございました。

運動会や音楽会などの大きな行事には、PTAの役員の皆様をはじめお手伝いの保護者の皆様のご協力のおかげで、子供たちが充足感を得られる行事となりました。

今年度もトミーズまつりやふれあい広場、ラジオ体操など地域と連携しての行事も実施することができ、活気あふれる地域行事となりました。今後も皆様とより密に連携をして教育活動を進めてまいります。来年度はコミュニティ・スクール実証校となり、学校の課題を地域の課題として共有し、解決に向けて協議できる学校にしていきたいと思います。